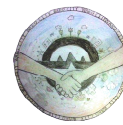


第二中学校区(第三小学校・広沢小学校・本町小学校・第二中学校)

ふれあい通信



↑ロゴは第二中学生徒作品です

事務局:教育委員会生涯学習課 048-424-9150

夏休みの活動「夏フェス」を紹介します。

8月7日(金)、昨年に続き「夏フェス 2026 in 中央公民館」を開催しました。今年も事前に第三小学校、広沢小学校、本町小学校、第二中学校に事前アンケートをとり、子どもたちが楽しめる内容を考え実施しました。



当日は、中学生のボランティア 20 名、和光国際高校のボランティア 6 名、十文字学園女子大学の学生20名、国立研究開発法人理化学研究所の先生方が夏フェスを盛り上げてくださいました。左の写真は1階ロビー受付の様子です。受付後は、十文字学園女子大学の「謎とき」からスタートです。

謎1～10までのポイントを探しながら、ヒントを頼りに示された謎を解いて進みます。(今年も、むずかしい～)

講義室では、十文字学園女子大学の学生さんによる工作教室が行われました。



工作①【ロゼットづくり】

工作②【重曹アート】

会議室1では、和光国際高校の生徒によるブースが設けられました。ゲーム「クイズで旅する！世界の国々」世界のあらゆる場所にまつわる和国生のクイズに答えて、世界中を旅しよう！の写真です。➡
1階体育室では「ヒッポファミリークラブ」の皆様による「世界のことばで遊んじゃおう！」(世界のことばと音楽に触れながら様々な国の文化や考え方を知り、目の前にいる人ともっと仲良くなろう！)が行われました。





今回夏フェスの内容について、児童生徒に依頼したアンケート調査結果から、「サイエンスショー」、「縁日」、「スマイル工房のパンの販売」というワードがありました。そこで新たに、国立開発法人理化学研究所による「クロマトグラフィーで色のひみつを発見」～枯れ木に花を咲かせましょう～を午前3回、午後2回開催していただきました。

※クロマトグラフィーとは
一つに見えるものの中に
何が入っているのか？を
調べるための成分のかく
れんぼを見つける方法です

昨年に引き続き本町地区社協の方による、無料のコーヒーがふるまわれました。



1階ロビーで行われた、公民館職員による輪投げ、お菓子すくいの様子です。

来館者(児童)、運営スタッフの感想から(一部抜粋)

- ・理化学研究所の濾紙とマーカーを使った実験に驚いた。
- ・輪投げが入った分だけお菓子のつかみ取りができるのが楽しかった。
- ・ボランティアの中学生と会えてよかった。
- ・重曹アートが楽しかった。裏がマグネットになっていたので、帰ってきてからも実用的に使えて嬉しかった。
- ・謎解きの質問ボードの置いてある場所がわかりにくかった。(和国のブース、会議室1のホワイトボードに問8の謎が示されていました)
- ・最後に景品がもらえたので嬉しかったが、くじ引きではなく欲しいものがもらえたらもっとよかった。
- ・体育館のプログラム(ヒッポファミリークラブ)がみんな親切で楽しかった。
- ・すまいる工房のパン販売はとても良かった。息子とお友達がすごく楽しみにしていて、買ったパンをお昼ご飯として食べたので、働く親にとっても安心して夏フェスに行かせられるし助かるのでは・・・と思った。11時からの販売開始時に工作の途中だった為、11:15頃に行った時にはすでに半分以上無くなっていて、買いたいパンが買えなかった～と残念がっていた。売れ行きも好調だった様なので、来年はもう少し数を増やしても大丈夫なのでは？と思った。
- ・今年、スタンプラリーとお玉で「うまい棒」をすくうゲームがあり、こども達が楽しそうだった。やはりお菓子やおもちゃを貰えるというのはいいなと思った。
- ・午後のドローン体験も、普段経験できないので、貴重だった。大人が操作しても、なかなか難しかったが、楽しかった。
- ・景品や工作のお土産があって小さなビニール袋をいくつもぶら下げている子が多かったので、ポスターに「エコバッグを持参してね」と記載しておくのと良いと思った。